

## 尾瀬における外来植物みずぎわ対策

公益財団法人 尾瀬保護財団

### ◆はじめに

尾瀬での外来植物対策としては、過去に山小屋周辺に侵入したシロツメクサやヒメジョオンなどの駆除が行われたことがあります。人の踏みつけにより裸地になった場所に生育するのみで、湿原内への分布拡大は認められないことから、有識者の見解を受けて、特別保護地区内における外来植物の駆除は行わないこととしています。一方、特別保護地区に通じる車道沿いにおいては、オオハンゴンソウ（特定外来生物：環境省）、ハルザキヤマガラシ（日本の侵略的外来種ワースト 100：日本生態学会）の生育が報告され、一部においてNPOによる駆除活動が行われてきましたが、より大がかりな対策が求められていました。

そこで尾瀬保護財団では、平成29年度から特別保護地区に至る登山口へ接続する車道沿いにおいて、関係機関に協力を呼びかけながら外来植物対策活動を開始しました（図）。

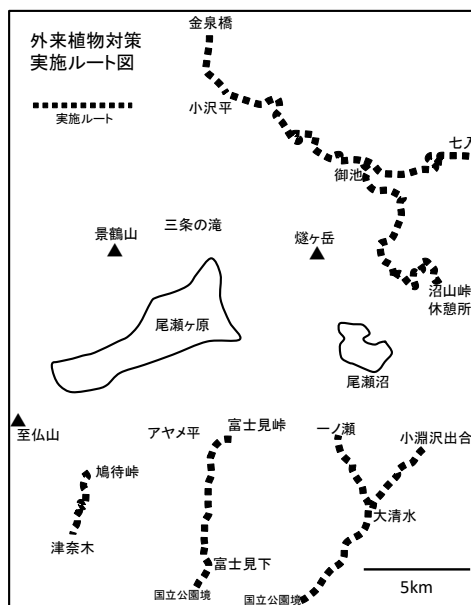


図 外来植物対策実施ルート

### ◆対策の内容

実施ルートに沿ってまず特定の外来植物の分布状況の調査を行い、その中で明らかになった特定の外来植物の生育地において駆除（根こそぎ抜き取り）活動を行いました。

### ◆協力機関、協力者

この外来植物対策には、環境省、会津森林管理署南会津支署、福島県、群馬県、檜枝岐村、片品村、東京電力ホールディングス株式会社、東京パワーテクノロジー株式会社の御協力をいただきました。群馬県側のルートでの分布調査では、尾瀬保護専門委員の片野光一氏に、群馬県側での駆除活動には、尾瀬ボランティアと、NPO 法人片品・山と森の学校にも御協力いただきました。ここに記して御礼申し上げます。

### ◆これまでの結果

#### 1. オオハンゴンソウの分布記録

##### (1) 群馬県側

- ①大清水周辺林道沿い 1 個体（駆除済み）
- ②尾瀬戸倉スキー場～富士見下駐車場 約 800 個体（半数駆除済み）

③津奈木橋～鳩待峠 5 個体 (駆除済み)

(2) 福島県側

檜枝岐村小沢平周辺 大規模群生 (一部駆除済み)

## 2. ハルザキヤマガラシの分布記録

(1) 群馬県側

津奈木橋～鳩待峠 多数 (半数以上駆除済み)

(2) 福島県側

檜枝岐村七入周辺 数百個体 (開花株は駆除済み)

檜枝岐村御池～沼山峠 約100個体 (ほぼ駆除済み)

## 3. その他記録された外来種

(1) 群馬県側

カモガヤ、エニシダ、イタチハギ、キヌガサギク、セイヨウタンポポ、オニウシノケグサ、シロツメクサ、エゾノギシギシ、ミヤコグサの一種、ヒレハリソウ、フランスギク、ハルジオン、ヒメジョオン、ムラサキツメクサ、オオアワガエリ、オッタチカタバミ、ブタナ、メマツヨイグサ、ハキダメギク

(2) 福島県側

カモガヤ、イタチハギ、セイヨウタンポポ、オニウシノケグサ、シロツメクサ、エゾノギシギシ、フランスギク、ハルジオン、ヒメジョオン、ムラサキツメクサ、ナガハグサ、ブタナ、セイヨウノコギリソウ



富士見下～国立公園境でのオオハンゴンソウの駆除成果と協力者



鳩待峠～津奈木でのハルザキヤマガラシの駆除作業